

福島大学農学群食農学類(仮称)

2019 入試情報

平成29年9月14日

平成30年1月10日一部字句修正
福島大学農学系教育研究組織設置準備室

福島大学農学群食農学類(仮称) 2019年4月設置構想中

「以下の内容は予定のものであり変更する場合があります。」

農学群食農学類(仮称)の教育目標と求める学生像

[教育目標]

本学類は、農学を総合的・実践的に学び、21世紀の食料・農林業・地域社会が直面する諸課題の解決に貢献できる知識・技能と応用能力を備えた人材を養成する。

[求める学生像]

本学類では、食品産業や農林業の第一線で活躍することや、行政や教育機関などで食品産業や農林業を支えることを目指す意欲を持ち、卒業までに次の四つの力を身に付けたいと考える学生を受け入れます。

- ・ 農学の専門知識を関連産業や地域社会の実践的な取り組みにつなげる力。
- ・ 異なる専門分野との学際的な交流によってチームプレイを推進できる力。
- ・ グローバルな科学的知見や国際比較の情報を地域の課題解決に活かす力。
- ・ 温かい眼差しと冷静な分析力によって地域社会への貢献を持続できる力。

本学類では、2年生の後期(第4セメスター)から、食品科学コース、作物・栽培学コース、生産環境学コース、農業経営学コースのいずれかに所属することになります。各コースは、次のような基礎的・専門的な知識と能力を身に付けた人材の養成を目標としています。

・ 食品科学コース：食品の分析について専門的な知識・技能を身に付けている。優れた食品の製造について知識・技能のポイントを修得するとともに、地域の食の伝統的な強みを活かす筋道を具体的に理解している。

・ 作物・栽培学コース：果樹・園芸等を含めて作物学の専門的な知識・技能を修得している。病害虫管理や土壌肥料の原理を学ぶことにより、安全な作物生産や環境保全型農業の基本課題を深く理解している。

・ 生産環境学コース：森林・農地・水利施設等の生産環境の実態を把握し、管理・活用システムを体系的に理解している。生産環境の修復やICT等の最先端技術導入などの実践的な課題に取り組むこともできる。

・ 農業経営学コース：農林業や食品産業の活動を社会科学の観点から分析する知識・技能を修得している。農商工連携などの新潮流の情報に詳しく、協同組合や共有資源の役割についても深く理解している。

募集人員等

学群	学類	入学定員	募集人数				推薦入試
			一般入試80名程度		AO入試20名程度		
			前期日程	後期日程	地域社会 貢献枠	実践教育 経験枠	
農学群	食農学類(仮称)	100名程度	60名程度	20名程度	概ね10名 程度	概ね10名 程度	0名

AO入試の入学手続き者が、募集人員に満たなかった場合、その欠員は一般入試前期日程の募集人員に加えます。

アドミッションオフィス入試(AO入試)

入試日等詳細については平成31年度学生募集要項で示します。

地域社会貢献枠

【出願資格】

- (1)高等学校または中等教育学校を卒業した者及び高等学校若しくは中等教育学校を平成31年3月卒業見込みの者又は高等専門学校第3学年を修了見込みの者。
- (2)福島県内の高等学校等の生徒**卒業もしくは卒業見込みの者**で、福島県内の農業、農業関連産業、食品関連産業、農林水産行政機関等の次世代の担い手として活躍する強い意欲を持つ者。福島県外の高等学校等の生徒**卒業もしくは卒業見込みの者**で、福島県内もしくは出身県内の農業、農業関連産業、食品関連産業、農林水産行政機関等で次世代の担い手として活躍する強い意欲を持つ者。
- (3)本学類のアドミッション・ポリシーに適合し、本学類で学ぶ強い意志を持ち、合格した場合は入学を確約できるもの。
- (4)以下のいずれかを取得している者
 - 実用英語技能検定準2級以上
 - 以下の検定結果でも可
 - CEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)A2とし
 - IELTS 3.0以上、TEAP 150以上、GTEC 690以上、GTEC CBT 510以上、TOEIC L&R S&W 385以上(L&R 225以上、S&W 160以上)など
 - 実用数学技能検定2級以上
 - 上記同等、同等以上の資格(例 情報処理検定ビジネス1級など)

選抜方法

【第1次選抜】

書類選抜とします。以下の書類により、熱意と適性の評価を行います。

(1)自己推薦書等

- ・自己推薦書(本学様式)
- ・地域社会貢献枠エントリーシート(本学様式)
(案)高校時代の地域での活動、自分の入学後の目標(教育・課外面)、卒業後の目標など。
- ・調査書
食農学類(仮称)への適性を判断するため使用

【第2次選抜】

第1次選抜に合格者対し、課題論文を課し、面接を実施します。

実践教育経験枠

【出願資格】

(1)高等学校専門学科(農業、工業、商業、情報、水産、家庭、看護、福祉)、総合学科若しくは中等教育学校専門学科(同じ)を平成31年3月卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を修了見込みの者で、農学を学ぶ強い意欲を持つ者。

(2)本学類のアドミッション・ポリシーに適合し、本学類で学ぶ強い意志を持ち、合格した場合は入学を確約できるもの。

(3)以下のいずれかを取得している者

実用英語技能検定準2級以上

以下の検定結果でも可

CEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠) A2 とし

IELTS 3.0以上、TEAP 150以上、GTEC 690以上、GTEC CBT 510以上、TOEIC L&R S&W 385以上 (L&R 225以上、S&W 160以上)など

実用数学技能検定2級以上

日本農業技術検定3級以上

日本商工会議所簿記検定2級以上

上記同等、同等以上の資格(例 情報処理検定ビジネス1級など)

選抜方法

【第1次選抜】

書類選抜とします。以下の書類により、熱意と適性の評価を行います。

(1)自己推薦書等

・自己推薦書(本学様式)

・実践教育経験枠エントリーシート(本学様式)

(案)高校時代特に興味を持ち学んだこと、自分の入学後の目標(教育・課外面)、卒業後の目標など。

・調査書

食農学類(仮称)への適性を判断するために使用

【第2次選抜】

第1次選抜に合格者対し、課題論文を課し、面接を実施します。

一般入試

詳細については平成31年度学生募集要項で示します。

大学入試センター試験の受験を要する科目等

試験日程	受験を要する教科名	科目の選択方法
前期日程 後期日程	国語 地理歴史，公民 数学 理科 外国語	国 世B，日B，地理B，現社，倫，政経，倫政経から1 数，数・数Aから1 数，数・数B，簿，情報から1 物，化，生，地学から2 または 物基，化基，生基，地学基から2および物，化，生，地学から1 英，独，仏，中，韓から1 (5教科7科目)または(5教科8科目)

【注意事項】

「地理歴史」、「公民」から2科目受験している場合は、第1解答科目を判定に用います。
 「理科」については、「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む科目を選択しても構いません。
 「英語」についてはリスニングを含みます。(リスニングを免除された場合は、筆記のみとなります。)
 過年度の大学入試センター試験の成績については利用しません。当該年度の大学入試センター試験の成績のみ利用します。

個別学力検査等実施教科・科目等

試験日程	試験教科・科目
前期日程	物基・物、化基・化、生基・生、 数学(数・数・数A・数B)、英語、から2科目
後期日程	数学(数・数・数A・数B)、英語、から1科目 面接

【注意事項】

個別学力検査等について
 前期日程の理科の「物理」「化学」「生物」は全領域
 前期日程について、物基・物、化基・化、生基・生 から2科目の選択も可能である。
 合格者決定方法について
 一般入試における合格者の決定は、大学入試センター試験の成績および個別学力検査等の成績の総合点により行います。
 個別学力検査等を受験しなかった者は合格者となりません。
 出身学校の調査書は、選抜の基礎資料として利用します。
 得点調整について
 個別学力検査等における選択科目間で、試験問題の難易度に差が認められた場合には得点調整を行います。

本件に関するお問い合わせ先
 農学系教育研究組織設置準備事務室 024-548-8212 E-mail nogaku-j@adb.fukushima-u.ac.jp